

令和6年度入学者選抜選考基準等について

神奈川県立大船高等学校

1 令和5年度入学者選抜 入学者の出身中学校の地域

	横浜	逗子 葉山	鎌倉	藤沢	茅ヶ崎 寒川	その他	計
令和5年度	38%	3%	18%	23%	10%	8%	100%
(参考) 令和4年度	39%	4%	14%	22%	13%	8%	100%

2 大船高校の入学者選抜

(1) 選考の資料となるもの ※面接は実施しません

調査書の評定、学力検査、調査書の観点別学習状況「主体的に学習に取り組む態度」の評価

(2) 選考資料の算出方法

【第1次選考】(募集人員の90%を選考)

◆ 調査書の評定 (A点)

2年次(9教科45点満点×1=45点満点)と

3年次(9教科45点満点×2=90点満点)の合計(135点満点)がA点

◆ 学力検査 (B1点)

学力検査(英・国・数・理・社。各教科100点満点)のうち、英語×1.5倍、国語・数学のうち点数の高い1教科×1.5倍の合計(600点満点)がB1点

調査書の評定(A点)、学力検査(B1点)を100点満点に換算した数値をそれぞれa点、b1点、とし、それをもとに次のように第1次選考の選考資料を算出する

$$S1 = a \times 3 + b1 \times 7$$

【第2次選考】(募集人員の10%を選考)

◆ 学力検査 (B2点)

学力検査(英・国・数・理・社。各教科100点満点)の合計(500点満点)がB2点

◆ 各教科の第3学年の観点別学習状況の評価のうちの

「主体的に学習に取り組む態度」の評価(C点)

9教科×3点満点=27点満点(重点化はなし)

学力検査(B2点)、「主体的に学習に取り組む態度」の評価(C点)を100点満点に換算した数値をそれぞれ b2点、c点、とし、それをもとに次のように第2次選考の選考資料を算出する

$$S2 = b2 \times 8 + c \times 2$$



令和6年度入学者選抜における大船高校の考え方

大船高校では、令和6年度入学者選抜から、第1次選考の学力検査において、英語と、国語・数学のうち点数の高い教科を重点化（×1.5倍）することとしました。これは、中学生の皆さんに、大船高校への合格や入学が中学校生活のゴールではなく、大船高校での高校生活3年間のスタートであると意識していただきたいと考えたからです。

第1次選考においては、調査書の評定と学力検査の割合は、3対7となっており、上位から概ね90%の合格者を選考することになります。そのため、合格ボーダー付近では、重点化により多少の合否の入れ替わりが生じるものと考えられますが、現実的には、ボーダー内の大半の受検生は、重点化の影響を受けることなく合格するものと思われれます。

そこで、本校における第1次選考での合格を目指すためには、学力検査の重点化をあまり意識するのではなく、自分の5教科における実力が総合的に高まるように勉強することをおすすめします。

第2次選考においては、「主体的に学習に取り組む態度」の評価と学力検査における重点化は行いません。そのため、第2次選考では、合否判定に対して、学力検査の教科の得意・不得意等による影響は基本的に生じません。

また、第2次選考では、学力検査と「主体的に学習に取り組む態度」の評価の割合は、8対2となっています。

そこで、本校における第2次選考での合格を目指すためには、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の合計点を考慮したうえで、第1次選考と同様に、自分の5教科における実力が総合的に高まるように勉強することをおすすめします。